

2017 年度 学校保健週間

11月13日(月)～11月17日(金)

学校保健週間は、生徒が健康についての理解を深め、自らの健康状態を把握し改善していく能力を高め、学校保健目標である「自己管理ができる生徒」の育成を図ることを目的として毎年実施しています。今回で7回目の開催となり、今年度は11月13日(月)～17日(金)に行います。

11月13日(月)

献血の日

対象

高2・3年生希望者・教職員希望者

日本赤十字社の献血車が来校します。献血とは、無償で血液を患者さんへ提供するボランティアです。血液はいまだ、人工的に作ることができません。輸血されている血液は、すべて誰かの善意の献血によって支えられています。誰かがやってくれればいいかなと思う人もいるかもしれません。しかし、自分や大切な人が病気になり、輸血が必要になったときに血液が足りないということが近い将来おきないとは限りません。
献血という助け合いにより、輸血医療は成り立ちます。本校では毎年、多くの生徒が献血に協力してくれています。



11月14日(火)

認知症サポーター養成講座

認知症は誰にも起こりうる脳の病気によるもので85歳以上では4人に1人にその症状があると言われています。認知症により、周りの人との関係が損なわれることもしばしば見られ、サポートする家族が疲れ切って共倒れしてしまうことも少なくありません。しかし、周囲の理解と気遣いがあれば穏やかに暮らしていくことは可能です。そのため本校では講師に浜松人間科学研究所代表の奥山恵理子先生をお招きし「認知症サポーター」を養成する講座を開催します。認知症サポーターには「認知症の人を応援します」という意思を示す「目印」であるオレンジリングが渡されます。



対象

各クラス代表者1名・希望生徒

11月15日(水)

①自分のからだを知ろう

自分の体のことを知るために、身長・体重・BMI・血圧・脈拍・体温・ストレスチェックを自由に行える場を設けます。



対象

希望生徒



11月15日(水)

②ピアサポート (豊かな人間関係づくりのコツを学ぶ)

「ピア・サポート」という言葉を知っていますか。

「ピア=仲間」「サポート=支援・援助」であることから

「仲間による支援」を意味し、子供たちが相互に支え合う活動のことです。不登校・いじめが社会問題となってから長い年月が経過しました。

不登校・いじめの原因は様々ですが、根底には、人間関係の希薄さがあると思います。

そこで、日本ピア・サポート学会理事の山口権治先生を講師にお招きし、生徒に友人を助けるための技術を学ぶトレーニングを教えていただきます。



11月16日(木)

講演 社会が求める人材とは

「ちょっとの差」が「大きな差」

学校保健週間で開催される特別講演会です。

毎年、様々な講師の先生を招き講演会を行っており、今年度は静岡県西部地域しんきん経済研究所理事長の俵山初雄先生にお話していただきます。俵山先生は「地域の発展なくして金庫の成長なし」をモットーに地域活性化のために奮闘されています。

『社会が求める人材とはなにか』・『社会で求められるスキルとはなにか』を考える貴重な機会になります。

対象

全校生徒



11月17日(金)

救急法講習会

対象

各クラス1名、希望生徒・教職員

北消防署曳馬野出張所の職員さんに「心配蘇生法」や「AEDの使い方」などを教えていただきます。

けが人や急病人が発生した緊急時でも、慌てることなく対応できるよう、正しい救助方法と知識を学びます。



写真はすべて昨年度の学校保健週間の様子です